

江包・大西の御綱祭り

大和の奇祭 五穀豊穰と子孫繁栄を願う農耕神事
(国指定無形民俗文化財 平成24年3月)



素盞鳴神社(江包)



市杵島神社(大西)
奥の鳥居に御綱神社

【場所】 奈良県桜井市大字

江包(えつつみ)

素盞鳴神社(すさのおじんじや)

大西(おおにし)

市杵島神社(いちきしまじんじや)

【由来】

昔、大洪水があつて神様が上流から流れてこられたのを、大西では稲田姫いなだひめ、江包では素盞鳴命すさのおのみことをお助けして祀つたという。その後、毎年正月にご結婚されることになったという。(和州祭祀記)
また、これに加えて洪水の時に、稲田姫が蛇(ジャ)になって川を渡られたので、それからこの行事をするようになったとも言ひ伝えられている。

【概要】

大西では雌綱(めづな)、江包では雄綱(おづな)を作り、旧暦正月十日(今日では二月十一日)に、江包の素盞鳴神社の神前で、両大字から運び込んだ雌雄の綱が出会い、夫婦の契りを結ぶ神事がおこなわれる。これが結婚式で、「入船式(いりふねしき)」とも言う。

江包地域

祭りの前々日(二月九日)

春日神社内で、雄(男)綱づくり

綱は、藁九束を芯にしてくくり、(以前は、伊勢音頭をとりにながら)トントン叩いて締める。そして、七〜九巻ぐらいくくり、これが頭になって、それに三、四十メートルの尾をつける。重さは、約六〇〇キログラム。

当日(二月十一日)

(注) 祭り当日の日程はあくまで概要です。若干の時間のずれが有ることをご承知ください。

大西地域

祭りの前日(二月十日)

市杵島神社で、雌(女)綱づくり

綱は、太い三つ綱を綱のよりに従ってなつていき、頭の方を適当な長さに二つ折りにして巻く。他の一端は長くなつていき、一〇〇メートル程の尾をつける。重さは、約五六〇キログラム。

区民 春日神社に集合↓児童公園に雄綱を運んで、綱の「化粧直し」をする。頭部の直径は約二メートル・長さは約三メートル。
又、春日神社内で、引き綱(約三〇メートル)を「胴締め」作業する。



「化粧直し」や「胴締め」の終了後、地域の東方にある南池まで雄綱を担い春日神社まで巡回する。途中、結婚など祝い事の有った家々を回る。



春日神社に戻ってくる。境内で祝い事の有った家の人々を祝う行事をする。

相撲場(江包地区)で相撲酒宴をした後、相撲場(田園)で泥相撲をおこなう。



泥が着けば着く程豊作と言われている。二〜三回の休憩をはさんで、一時間程の泥相撲をおこなう。

【行事の行程】

綱づくり

午前 8時頃

区民 神社に集合 御綱神社神事
竹に紙をつるした御幣八本を立て、神饌を供えておこなう。



午前 9時頃

市杵島神社を出発 村内巡回
途中、結婚や新築など祝い事の有った家々を回る。

午前 9時30分頃

相撲場(田園・大西地区)に到着
相撲をおこなう。綱の尾を土俵にして、泥田の中で相撲をする。泥が着けば着く程その年は、豊作と言われている。小一時間相撲がおこなわれる。



午前 10時頃

江包の素盞鳴神社に向け出発
先導は、神主と仲人の喜田氏がおこなう。



素盞鳴神社に到着

午前 11時頃

仲人役は、七度半の「呼び使い」を春日神社に向けておこなう。この間、雌綱は広げて待っている。



大西の七度半の「呼び使い」に応じて、相撲場から男達に担ぎ上げられた雄綱が、素盞鳴神社前で待っている雌綱に向かって突進する。



午後 12時以降
午前 11時30分頃



素盞鳴神社の前で「入船式」

両者が繋がって、神前に吊される。尾は、両方長く張って、雌綱は初瀬川を越して対岸の太木にくくりつけられる。(綱は五月中旬まで吊っておかれる)



これで双方の参加者が手打ちをし、大西からは仲人と村役だけが残し、江包側と社殿で式をおこなう。

【考察】『桜井風土記』(発行 桜井市 著者 栢木 喜一氏)より

この行事は古くからの田遊び祭りの一種で、農作業の豊作を予め祝う儀式。この種の行事は、日本全国各地で、いろいろな形で伝えられている。関東の赤塚、近畿の飛鳥のおんだに代表される感染所作(かまけわざ)というべきものであろう。「折口信夫全集」広く米作地帯ではどの国にもあった、豊作を祈る農民の切なる願いの表れなのだ。しかし、ここのは人が扮するのではなく、藁で作られており、それがまことに巨大であり、しかも厳粛な所作がまもられていることがありがたい。

【参考資料】大三輪町史・桜井市史(下巻)・江包大西御綱祭保存会パンフ



Otsuna Festival
Fête Otsuna

Feb.11 Susano-o Jinja Shrine (Ōnishi-Ettsumi)
11 fév. Sanctuaire Susano-o Jinja (Ōnishi-Ettsumi)
A ritual for exchanging marital vows in which male and female ropes are carried.
Un rite d'échange de serments de mariage au cours duquel des cordes mâle et femelle sont transportées.

网节
오쓰나마쓰라

2月11日 素盞鳴神社(大西・江包)
2월11일 스사노오신사(오니시, 옛쓰미)
抬出雄綱和雌綱, 交換夫婦契約神事。
오즈나와 메즈나를 짊어지고 부부의 서약을 나누는 행사.